

そのメロディに魅せられて

G線上のアリア(管弦楽組曲第3番ニ長調BWV1068) (『永遠のバッハ』収録)

ヨハン・セバスティアン・バッハ C1ハ08873 篠崎ほか所蔵

この曲名は、J・S・バッハ作曲「管弦楽組曲第3番ニ長調BWV1068」の第2曲「アリア(エール)」を、ヴァイオリニストのウィルヘルミがピアノ伴奏付きヴァイオリン独奏用に編曲したものの愛称です。原曲のニ長調からハ長調に移調され、旋律はヴァイオリンの最低音の弦

(G線)のみで演奏されることに由来しています。穏やかで落ち着いた旋律は、ざわついた心を和らげ、安らかな気持ちにさせてくれます。この曲と共に、秋の夜長をゆったりと過ごしてみませんか。

江戸川まいにんぐ 発掘 第67回 一之江名主屋敷

一之江名主屋敷は、東京都における代表的な江戸時代中期の名主屋敷として、1954年11月3日に東京都の文化財に指定され、1981年には江戸川区登録史跡となりました。創建時の所有者は、一之江新田の開拓者である田島^{なぬし}図書です。田島^{なぬし}図書は、堀田氏を称して豊臣家に仕えていましたが、関ヶ原の戦いに敗れ、大杉の田島家に身を寄せて田島を称するようになりました。以来、田島家は一之江新田の名主を代々務めてきました。

現在の主屋は安永年間(1772年～1780年)の再建ですが、屋敷林や堀をめぐらした屋敷構えは、創建当初の様子を伝えています。東方入口に長屋門を構え、東向きの主屋は茅葺きの曲がり家造りです。曲がり家は江戸川区とその周辺の旧家建築の代表的形式です。式台を設けた玄関は間口2間ですが、天井が低いのは、この地方特有のものです。主屋は敷居や鴨居が三本溝になっており、30坪ほどあるドマのほぼ中央には直径45cmのケヤキの大黒柱があり、これを境に農作場と

江戸川区内のイベントやスポットについてスタッフが調査して身近な情報をお届けする地域密着型のコーナーです。

カマドのあるカッテに分かれています。ドマの天井は踏み板天井で農具や川舟の収納場所になっていました。

田島家には代々の村政の諸事項を記録した文書が多数残されており、江戸期の民政や農民の生活を知るための重要な資料となっています。

現在は、敷地内や主屋が一般公開され、季節に応じたさまざまな催しが行われています。

散歩がてらに足を延ばしてみたいはいかがでしょうか。

所在地

〒132-0003 東京都江戸川区春江町2-21-20

参考資料

江戸川区の史跡と名所 江戸川区教育委員会事務局生涯学習課文化財係編集 江戸川区教育委員会 K1-29 篠崎ほか所蔵
江戸川区史跡散歩 内田 定夫著 学生社
K1-29 篠崎ほか所蔵
江戸川区ホームページ 江戸川区文化財・史跡 史跡:一之江名主屋敷
https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e_bunkazai/bunkazai/nanushi-yashiki/index.html



編集後記

モシャリーに教わって、歩き方を変えました。とても快適です。(風雲ふわふわ丸) / 最近、作曲にはまっています。(ぱるめりん) / 家の周りに虫が多く、彼らが季節を教えてください。セミからマツムシへパトントンタッチ。(モシャリー) / なおみちゃん、全米オープン二度目の優勝おめでとう!(ちゃしこ) / 過ごしやすい気候で食べ物も美味しい。秋が一番好きな季節です。(すずの木)

編集・発行: 江戸川区立篠崎図書館

住所: 〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19 しのぎ文化プラザ内

TEL: 03-3670-9102

[しのぎ文化プラザホームページ]内篠崎図書館ページ

<https://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>

2020年10月1日発行(季刊)

図書館報 ぶらっつ★篠崎

067号

P2~P3 特集

「私を変えた本」

P1 スタッフのセレクション
「戦国、まずい飯！」

P4 そのメロディに魅せられて
「G線上のアリア」

P4 江戸川まいにんぐ
「一之江名主屋敷」



10月27日(火)から11月9日(月)は、「読書週間」です。篠崎図書館では今年も読書の秋にぴったりの企画を実施します。

特別展示

書評サイトHONZレビュアー・栗下直也が選ぶ
「いま読むべきノンフィクション30冊」

11月8日(日)～29日(日)

ノンフィクションの書評サイト「HONZ」でレビューを執筆する栗下直也氏にお薦めのノンフィクション作品30冊を選んでいただきました。先の見えない現在だからこそ手に取りたい一冊やいつ読んでも刺激的な名作などさまざま。読書の秋、知的好奇心を満たしてくれる本をご堪能ください。



イベント
情報

「栗下直也トークショー ～書評サイトHONZレビュアーが語る
ノンフィクションの魅力～」

事実は小説より奇なり！ 普段小説しか読まないという方にも読んでほしいノンフィクション作品をご紹介します。書評サイト「HONZ」でレビューを執筆する栗下直也氏をお招きし、ノンフィクションの魅力を語っていただきます。

11月7日(土)

14時 開演 (13時30分 開場)

場所: 篠崎文化プラザ 講義室

定員: 30名(事前申し込み制)

10月11日(日)15時から図書館カウンターまたはお電話にて受付します。

スタッフのセレクション!

戦国、まずい飯! 黒澤 はゆま著 集英社インターナショナル 383.8ク 篠崎ほか所蔵

図書館で戦国時代関連の本を借りて帰ろうと思えば本棚を眺めていたら、インパクトのあるタイトルの本が目飛び込んできました。本書の内容は歴史小説家の著者が子どもの時に大河ドラマなどを見て、「あれ食べてみたい」と思った戦国の食を再現するというもので文献でしっかり調べ、必要ならば研究者に聞くという徹底ぶり。

著者は赤米、干し飯など、色々な戦国の食に挑戦していますが、一番印象に残ったのは糠味噌汁の話。当時、大豆は馬の飼料だったため大豆味噌よりも簡単に手に入る糠味噌が盛んに作られていて、様々な料理に使われており、その一つが糠味噌汁です。味噌の代わりに糠味噌を入れ煮るだけですが、著者によると色はしっかりでるが味がまったくせず、糠のにおいが生臭

くて不愉快だったそうです。徳川四天王の一人、井伊直政が味の無さに醤油を足して欲しいとお願いして、先輩の大久保忠世に「この汁さえ飲めない兵士や領民の気持ちを知れ」と叱られたという逸話が残っています。直政がまずいと思った糠味噌汁。私は糠漬けが大の苦手なので絶対食べたくありません。本書はまずい飯だけでなく牛肉、ほうとうなど美味しい飯も取り上げているのでご安心を。

戦国時代に行ってみたいという夢を持っていましたが、本書を読んでみて、食べ物の好き嫌いの多い私には到底無理だなと痛感しました。そして、まずい食事だけでなく、たび重なる戦乱で明日の命も分からない戦国時代に生きた人々のたくましさや再認識することができました。

篠崎図書館スタッフが選んだ
おすすめ本を紹介します。

私を変えた本

読書週間がやって来ました。今年も特別企画として篠崎図書館の全スタッフが本をご紹介します。今回のテーマは「私を変えた本」。小さいことから大きいことまでそれぞれが変わるきっかけとなった本をご紹介します。

無私の日本人
磯田 道史著
文藝春秋
281頁
篠崎ほか所蔵

穀田屋十三郎、中根東里、大田垣蓮月という江戸時代を生きた人物の、「無私」の精神を描いた評伝。3人のエピソードに衝撃と感動で胸が熱くなり、彼らを取り上げた磯田氏の目の付け所は素晴らしいと思いました。学校の授業では分からなかった、日本史の魅力にはまるきっかけとなった一冊です。

「めんどくさい」
台所
足立 洋子著
SBクリエイティブ
596頁
篠崎ほか所蔵

毎日台所に立つのは「めんどくさい」。手の込んだ料理はできないけれど、家族には美味しいものを食べてほしい。そんな思いをちょっとした工夫と、考え方を変えるだけで実現させてくれました。しなければと思っていた台所仕事なんだそんなことかと思えるようになります。

NO
IMAGE
アタマと心に効く
ジグソーパズルの世界
アン・D. ウィリアムズ著
瀬本 米子訳
やのまん
798頁
篠崎ほか所蔵

本書はジグソーパズルの歴史が時代背景も交えて詳しく語られ、パズルの写真も多く、とても楽しめました。読み終わる頃には「自分で作れるかも」と思うようになり、定年後の楽しみの一つとしてエントリー。その年で細かい手作業が出来るかはさておき、将来、遊ぶ側から作る側へと変わるかもしれません。

西行花伝
辻 邦生著
新潮文庫
BF7
篠崎所蔵

弓を射る際、的を射抜くかどうかではなく、弓を射るということそのこと自体に喜びを見出すことを雅の心という。そんな雅の心を知ってから、物事ががつがつしそうになると、「それって雅じゃなくない？」と行動を改めるようになった。

猿蟹合戦
(芥川竜之介全集5所収)
芥川 竜之介著
筑摩書房
B918ア5
篠崎ほか所蔵

猿蟹合戦を現代の法律的観点から語るとどうなるか。昔話の勧善懲悪の世界しか知らなかった子どもの頃の私の価値観が、がらりと変わった作品です。わずか数ページの短い小説ですが、高校生の私はこれをきっかけに法律の世界に進むことを決めました。

水木しげるの
妖怪文庫(1~4)
水木 しげる著
河出書房新社
B147ミ4
篠崎所蔵

私が読んでいたのは、子ども雑誌についていた水木しげる氏の妖怪本。怖いものだけれど、どこか憎めない可愛らしい妖怪たち。読んだその日は必ず悪夢を見るので、もう見るなと親に何度も取り上げられていました。水木さんの作品が私のおばけ・妖怪好きの扉を開いたのです。

ハーブティー
ブレンド100
しばた みか著
山と溪谷社
499頁
篠崎ほか所蔵

思えば昔から紅茶党だった気がする。しかしある時、現代社会につきもののイライラやちょっとした体調不良に効果のあるハーブティーがあると知り、些細な好奇心から本書を借りた。気付けば今やすっかりハーブティー党だ。体に優しく効能もあるとは、なんて素敵なお飲み物だろう。

はじめての
スパイスカレー
水野 仁輔著
パイインターナショナル
596頁
篠崎ほか所蔵

著者はスパイスカレーブームの火付け役となったカレーの伝道師水野仁輔さん。玉ねぎは欧風の「弱火で長時間」ではなく、インド流の「中強火で短時間」という方法で、カレー作りの敷居が一気に下がりました。市販のカレーに不満な人は是非挑戦していただきたいです。

ぎおんご
ぎたいごじしょ
パイインターナショナル
814頁
篠崎ほか所蔵

まぎれもなく、これは辞書ではあるけれど読み進めていくと「かぜのまち」という架空のまちを、実際に散策しているような不思議な気持ちになりました。まるで物語の関係者になったような錯覚をおこしたのは、初めてのことでした。

たいのおかしら
さくら ももこ著
集英社
B914サ
篠崎ほか所蔵

「写真」と「二十歳になった日」の章で語られる「大人になること」についての著者の考え方に共感した私は成人式に行かなかった。が、今回改めて読み返して驚いた。著者は成人式に行かなかったことを「若気の至り」だったと悔いていたのだ。十代の私は自分に都合のいい考えだけを取り込んだらしい。でも私は後悔していない。成人式に行かなかった日は著者の二十歳の誕生日と同じく、私にとって一生忘れられない大切な一日になったから。

時の娘
ジョセフィン・テイ著
小泉 喜美子訳
早川書房
B933テ
篠崎所蔵

表紙の絵はある歴史上の人物を描いたものです。私は本書を読んで彼に対する印象が180度変わりました。そして歴史とは勝者が語った物語なのだと実感しました。この本は小説なので、事実がどうだったのかはわかりません。ただ、物事を違う角度から見る視点は忘れないようにしようと思いました。

小さいことに
くよくよするな！
リチャード・カールソン著
小沢 瑞穂訳
サンマーク出版
159頁
篠崎ほか所蔵

いつも〇〇しなければと思いつみ、失敗してはああすれば良かったと落ち込むことの多い私。今気にしていることは「一年たてばすべて過去」で、長い目でみれば人生その他もろもろの出来事の一つに過ぎないと気楽に考えるきっかけを与えてくれた本。「しょせんすべては小さなこと」と。

エキストラバージン
オリーブオイルの嘘と真実
トム・ミュラー著
実川 元子訳
日経BP社
576頁
篠崎ほか所蔵

エキストラバージンオリーブオイルの大半が偽物だとして、偽装の実態を告発する一方、それと闘う作り手達の誠実な仕事を丁寧に紹介している。以来、オリーブオイルを選ぶ時は慎重に。良質なオイルを買うことで生産者を支え、良いオイルを守っていく闘いに私も参加するのだ。

日帰り登山の
ススメ
鈴木 みき著
講談社
B786ス
篠崎ほか所蔵

散歩感覚で山に行ったら、ひどいめにあった。それからはきちんと準備、装備をして行こうと思うようになった。登山用のウェアを着ると快適で動きやすく疲れにくい。知識があると楽しさが増し、心配事も減り、山女子になりきれると思わせてくれた本です。

ぼくらの
七日間戦争
宗田 理著
ポプラ社
JFソ
篠崎ほか所蔵

私が初めて読んだ文庫本です。中1の夏、主人公の男子生徒たちが大人たちに宣戦布告し大暴れするという内容。大人に盲目的に従っていた私にとって衝撃的な物語でした。今思えば、やんちゃな学生だった私は、この物語に影響されたのかもしれない。

おとなになるって
どんなこと？
吉本 ばなな著
筑摩書房
J914ヨ
篠崎ほか所蔵

人生の根幹に関わる8つのことについて著者の想いが語られています。普通はこうでなければ……そんな思いにとらわれていたころ、自分を知ることの大切さにあらためて気づかされ楽になれた本。おとなになったからこそ響いてくる言葉もあるように思います。

ミゲル・ストリート
V. S. ナイポール著
小沢 自然ほか訳
岩波書店
933ナ
篠崎ほか所蔵

英植民地下のトリニダードを舞台に風変わりな住人たちを描いた小説。複雑な背景を持つ彼らの楽しくも切ない物語は難解ながら心に残り、ファンタジーが好きだった小学生当時の私に現実世界は空想の中と同じくらい不思議な所かもしれないと考えるきっかけをくれた。